

# 複数の IOS IPS 脆弱性

Medium	アドバイザーID : cisco-sa-20070213-iosips	<a href="#">CVE-2007-0918</a>
	初公開日 : 2007-02-13 16:00	<a href="#">CVE-2007-0917</a>
	バージョン 1.1 : Final	
	CVSSスコア : <a href="#">4.7</a>	
	回避策 : <a href="#">Yes</a>	
	Cisco バグ ID : <a href="#">CSCsa53334</a> , <a href="#">CSCsg15598</a>	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco IOS® の侵入防御システム ( IPS ) 機能セットは複数の脆弱性が含まれています。これには次のものがあります。

- フラグメント化された IP パケットがシグニチャ インспекションを避けるのに使用されるかもしれません。
- ATOMIC.TCP シグニチャ エンジンの正規表現 機能を利用する IPS シグニチャによりルータはサービス拒否に終ってクラッシュしますかもしれません。

これらの脆弱性のための軽減および回避策があります。Cisco では、該当するお客様用に、これらの脆弱性に対応する無償ソフトウェアを提供しております。

このアドバイザーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20070213-iosips> で掲示されます。

## 該当製品

### 修正済みソフトウェア

有効になる IPS 機能セットの次の Cisco IOSの一連のリリースはフラグメント化されたパケット回避脆弱性に脆弱です:

- 12.3T、バージョン 12.3(2)T を除いて、12.3(4)T および 12.3(7)T
- 12.4
- 12.4T
- 12.4XE

有効になる IPS 機能セットの次の Cisco IOSの一連のリリースは ATOMIC.TCP 正規表現 サービス拒否の脆弱性に脆弱です:

- 12.3T、バージョン 12.3(2)T を除いて、12.3(4)T および 12.3(7)T
- 12.3XQ、12.3XR、12.3XS、12.3XW、12.3XX、12.3XY
- 12.3YA、12.3YD、12.3YG、12.3YH、12.3YI、12.3YJ、12.3YK、12.3YM、12.3YQ、12.3YS、12.3YT、12.3YX、12.3YZ
- 12.4
- 12.4MR
- 12.4T
- 12.4XA、12.4XB

IPS 機能セットが IOSデバイスでアクティブだったかどうか確認するために、提示 IP IPS 設定コマンドを使用して下さい。このコマンドは IPS インспекションを使用するために設定されたインターフェイスをリストしたものです。それから更にそれらが有効になるかどうか確認するために各インターフェイスのステータスをチェックする必要があります。

```
router#show ip ips configuration
Configured Config Locations: -none-
Last signature default load time: 18:46:50 UTC Jan 5 2007
Last signature delta load time: -none-
Last event action (SEAP) load time: -none-
IPS Auto Update is not currently configured
IPS fail closed is disabled
Fastpath ips is enabled
Quick run mode is enabled
Event notification through syslog is enabled
Event notification through SDEE is enabled
Total Active Signatures: 85
Total Inactive Signatures: 61
IPS Rule Configuration
  IPS name test
IPS Category CLI is not configured
Interface Configuration
  Interface FastEthernet0/0
    Inbound IPS rule is test
    Outgoing IPS rule is not set
```

```
router#show ip interface FastEthernet0/0
FastEthernet0/0 is up, line protocol is up
```

上の例では IPS を使用するために、インターフェイス FastEthernet0/0 は設定され、有効になるために示されています。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

### 改訂履歴

リビジョン 1.0	2007-February-13	初回公開リリース
--------------	------------------	----------

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。